

# よみがえれ 地方語

◎ 4 ◎

船津 好明

## 沖繩文字と発音

②

対照国語文字 沖繩文字

か

音韻記号 = kwa  
国際音声記号 = [kwa]

対照国語文字 沖繩文字

が

音韻記号 = gwa  
国際音声記号 = [gwa]

対照国語文字 沖繩文字

き

音韻記号 = kwi  
国際音声記号 = [kwi]

対照国語文字 沖繩文字

ぎ

音韻記号 = gwi  
国際音声記号 = [gwi]

発想——国語文字「く」と「わ」を組み合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

発想——国語文字「か」と「が」の表記上の関連に習い、「が」に濁点を打ったもの。

発想——国語文字「く」と「い」を組み合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

発想——国語文字「き」と「ぎ」の表記上の関連に習い、「ぎ」に濁点を打ったもの。

用例——ち(火事)、ち(ち)ち(ちちちち)、ちんち(かほちち)

用例——ちんく(頑固)、あかんち(赤ん坊)、にんちん(念願)

用例——ぐ(声)、ぐゆん(呉れる)、さぐ(咳)

用例——ぐく(越来)、地名

対照例——かじ(風)、かない(雷)、かーま(遠方)

対照例——がんちち(眼鏡、めがね)、がちゅん(鱒)、しがた(姿)

対照例——き(木)、きめん(蹴る)、きん(煙)

対照例——きぎ(月橘)、木の名、かーぎ(容貌)

「わ」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」や「わ」をほとんど同時にこらうようにする。「わ」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「あ」を発声したときの形になる。

「が」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」や「わ」をほとんど同時にこらうようにする。「が」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「あ」を発声したときの形になる。

「き」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」と「い」をほとんど同時にこらうようにする。「き」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「い」を発声したときの形になる。「く」のようには音に聞こえるような発声は正しくなく。

「ぎ」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」と「い」をほとんど同時にこらうようにする。「ぎ」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「い」を発声したときの形になる。「ぐ」のようには音に聞こえるような発声は正しくなく。

(沖繩語研究家)